

## 第7回 慶應義塾大学 E.C.O. (第 26 号)

環境サークル E.C.O.は、1991年に学生が塾長に環境サークルを立ち上げたい旨を直訴し、それに同意した塾生4人でスタートしたサークルです。最初は定例会、三田・矢上キャンパスでの古紙回収や空き缶回収などを行っていました。現在では部員数も増え、約60人の部員が在籍して活動を行っております。

E.C.O.は「環境問題について考え、身近なところから行動していく」を基本理念に様々な活動を展開しており、主に3つ大きな活動があります。

1つ目は環境週間における活動で、6月の環境月間のうち1週間を環境週間と定め、「自分たちで活動するだけでなく、キャンパスを利用する多くの人に、広く環境への興味を持ってもらいたい」という願いから、塾生、教職員の環境意識向上に向けたさまざまな企画を、2002年より行っています。2007年度環境週間では、慶応義塾体育会とのキャンパス清掃活動、メディアセンター(図書館)や生協との共同企画、大学で使われているリサイクル容器の認知度向上・回収促進、環境漫才、学生と社会人による環境教育についてのディスカッションなどを行いました。

2つ目は10月に行われる矢上祭への参加です。ここでは「実験系環境教育ブース」を設け、近隣の小学生を主な対象に、環境についての実験やポスター展示による解説を行っています。2006年度は『マイ☆エコ・マイ☆エネルギー』と題し、新しく注目されているエネルギーや省エネについて身近なところから考えてもらえるような実験を、来場者の方に体験していただきました。また全体の環境対策として、来場者の方にごみの分別指導をしています。

そして3つ目は、11月に行われる三田祭への参加です。「リユースバザー」では、持ち主が見つからず処分される運命にある学内の落とし物を大学側から受け取って販売し、売上金を環境保護団体に寄付しています。また矢上祭と同様に環境対策に参加し、模擬店の方や三田祭実行委員会の方と協力して来場者の方にごみ分別指導を行っています。

このほかにも、勉強会、古紙回収、環境教育、リサイクル容器の回収など、年間を通した活動を継続して行っております。勉強会では部員の興味に合わせて自分たちでテーマを決め、環境教育では近隣の矢上小学校の子どもたちと一緒にゴミ拾いをしております。

今後も塾内にとどまらず、外部への発信もしつつ活動の幅を広げていきたいと思っています。